



新興プラントック株式会社

決算説明会資料

2019年3月期 第2四半期

新興プラントック株式会社 証券コード：6379

目 次

1. 2019年3月期第2四半期の事業環境	2	10. 貸借対照表	11
2. 2019年3月期第2四半期の業績概要	3	11. キャッシュ・フロー	12
3. 受注高の工事種類別内訳	4	12. 2019年3月期の業績見通し	13
4. 完成工事高の工事種類別内訳	5	13. 受注高及び完成工事高の内訳	14
5. 受注残高	6	14. 通期の推移	15
6. 総利益	7	15. 配当について	16
7. 営業利益	8	16. JXエンジニアリング株式会社との経営統合について	17
8. 営業外損益・経常利益	9	17. ベトナム駐在員事務所の開設について	25
9. 特別損益・当期純利益	10		

- 石油業界では経営統合・再編の動きも決着の方向。
- ここ数年続いた石油業界の大型再編も最終局面。
- 石油製品の需要が減少する国内市場において、これまでの供給能力の削減により石油製品の需給環境が改善し、事業環境が好転。
- 長期にわたりガソリン価格が高止まりし、ガソリン消費の減少が懸念。
- 石油化学業界では市況の好調が維持され、高機能品の需要が堅調な状況。
- 一般化学業界をはじめとする一般工業分野では、景気の緩やかな回復に伴い設備投資が回復の動き。
- 当社グループでは、当期（2019年3月期）は定期修理工事が前期（2018年3月期）よりも増加。
- プラント強靱化対策工事、経年化対策や安定稼働のための改造・改修工事や高機能品の生産のための新規プラント建設工事などの受注確保に努める。
- 材料価格や人件費、外注加工費の上昇要因に対し、直接工事費の原価低減、経費の継続的削減などにより収益を確保。

2. 2019年3月期第2四半期の業績概要（連結）



（参考）

（単位：百万円）

	2017.09	2018.09	前期比	増減率
受 注 高	46,383	51,399	+5,015	+10.8%
完 成 工 事 高	45,067	43,789	-1,278	-2.8%
総 利 益	5,490	5,561	+71	+1.3%
（率）	12.2%	12.7%	+0.5%	-
一 般 管 理 費	1,962	1,972	+10	+0.5%
（率）	4.4%	4.5%	+0.1%	-
営 業 利 益	3,527	3,588	+60	+1.7%
（率）	7.8%	8.2%	+0.4%	-
経 常 利 益	3,698	3,706	+8	+0.2%
（率）	8.2%	8.5%	+0.3%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,470	2,449	-20	-0.8%
（率）	5.5%	5.6%	+0.1%	-
1株当り当期純利益	53.43円	52.98円	-0.45円	-0.8%
受 注 残 高	21,857	30,273	+8,415	+38.5%

（単位：百万円）

期初発表値（5月9日）との差異	差異		増減率
	差異	増減率	
47,000	+4,399	+9.4%	
47,000	-3,210	-6.8%	
4,600	+961	+20.9%	
9.8%	+2.9%	-	
2,000	-28	-1.4%	
4.3%	+0.2%	-	
2,600	+988	+38.0%	
5.5%	+2.7%	-	
2,700	+1,006	+37.3%	
5.7%	+2.8%	-	
1,700	+749	+44.1%	
3.6%	+2.0%	-	

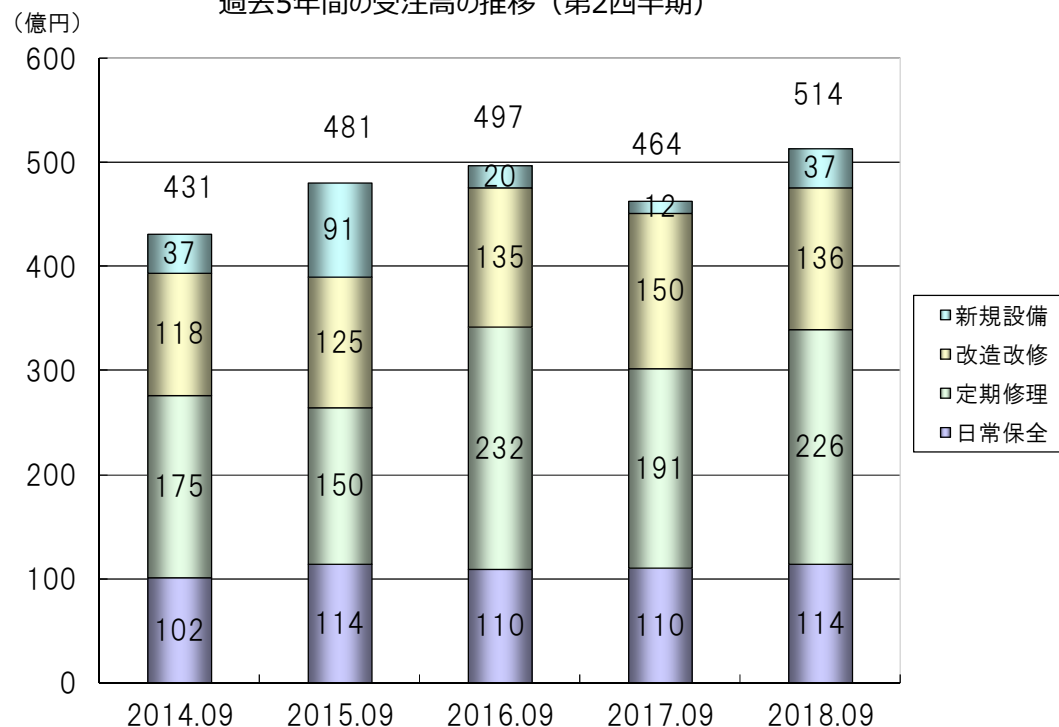
※上記の差異および増減率は第2四半期実績値との比較です。

3. 受注高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

受注高	2017.09	2018.09	前期比	増減率	期初発表値(5/9)	期初比	増減率
日常保全工事	11,048	11,419	+371	+3.4%	12,000	-580	-4.8%
定期修理工事	19,145	22,610	+3,465	+18.1%	17,500	+5,110	+29.2%
改造改修工事	15,011	13,644	-1,366	-9.1%	12,000	+1,644	+13.7%
新規設備工事	1,179	3,724	+2,545	+215.9%	5,500	-1,775	-32.3%
エンジニアリング業	46,383	51,399	+5,015	+10.8%	47,000	+4,399	+9.4%

過去5年間の受注高の推移（第2四半期）



- 受注高は前期比で50億円の増加
期初発表値から43億円の増加

【日常保全工事】

- ①前期並み。ほぼ期初発表値のとおり

【定期修理工事】

- ①定期修理工事が前期より大幅に増加
- ②工事量の増加や下期予定の工事の受注もあり、期初発表値に対し大幅に増加

【改造・改修工事】

- ①前期が非常に好調であり、前期比では減少
- ②海外子会社における大型案件の受注などにより、期初発表値に対しては増加

【新規設備工事】

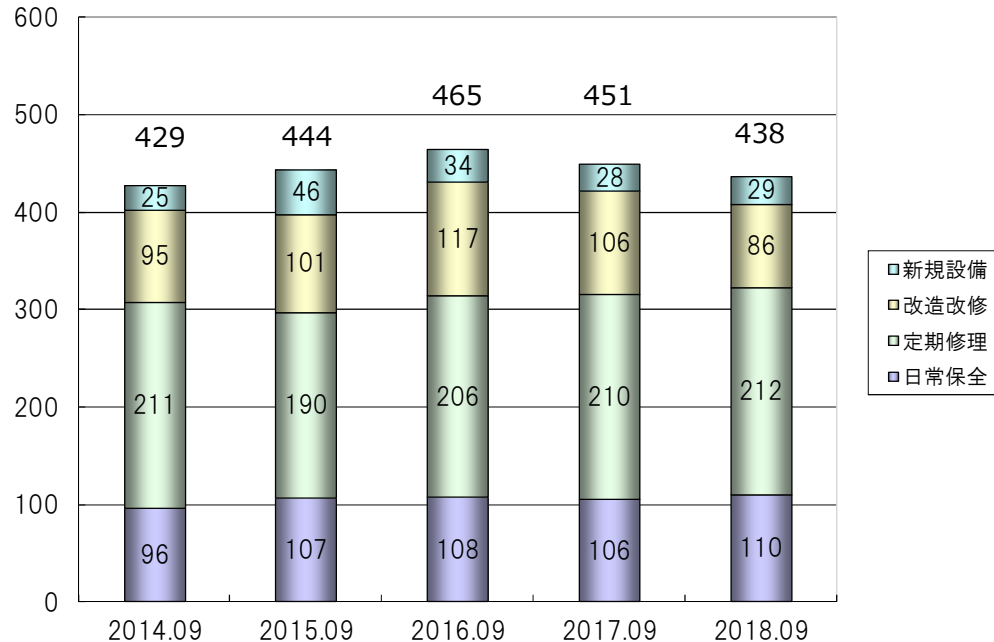
- ①一般化学を中心とする中小型の新規設備工事の受注
- ②前期比では大幅に増加
- ③期初発表値に対しては失注、下期へズレた案件もあり未達

4. 完成工事高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

完成工事高	2017.09	2018.09	前期比	増減率	期初発表値(5/9)	期初比	増減率
日常保全工事	10,564	11,029	+464	+4.4%	12,000	-970	-8.1%
定期修理工事	21,012	21,190	+177	+0.8%	20,000	+1,190	+6.0%
改造改修工事	10,613	8,578	-2,035	-19.2%	12,000	-3,421	-28.5%
新規設備工事	2,804	2,914	+110	+3.9%	2,900	+14	+0.5%
エンジニアリング業	44,995	43,712	-1,283	-2.9%	46,900	-3,187	-6.8%
その他事業	71	76	+5	+7.2%	100	-23	-23.3%
合 計	45,067	43,789	-1,278	-2.8%	47,000	-3,210	-6.8%

（億円） 過去5年間の完成工事高の推移（第2四半期）



- 完成工事高は前期比で12億円の減少
期初発表値から32億円の減少

【日常保全工事】

- ① 前期並み

【定期修理工事】

- ① 前期は高水準の完成工事高で、当期も前期並み
- ② 期初発表値に対し、大幅に増加

【改造・改修工事】

- ① 前期比、期初発表値ともに減少
- ② 工事の完工が下期にズレ

【新規設備工事】

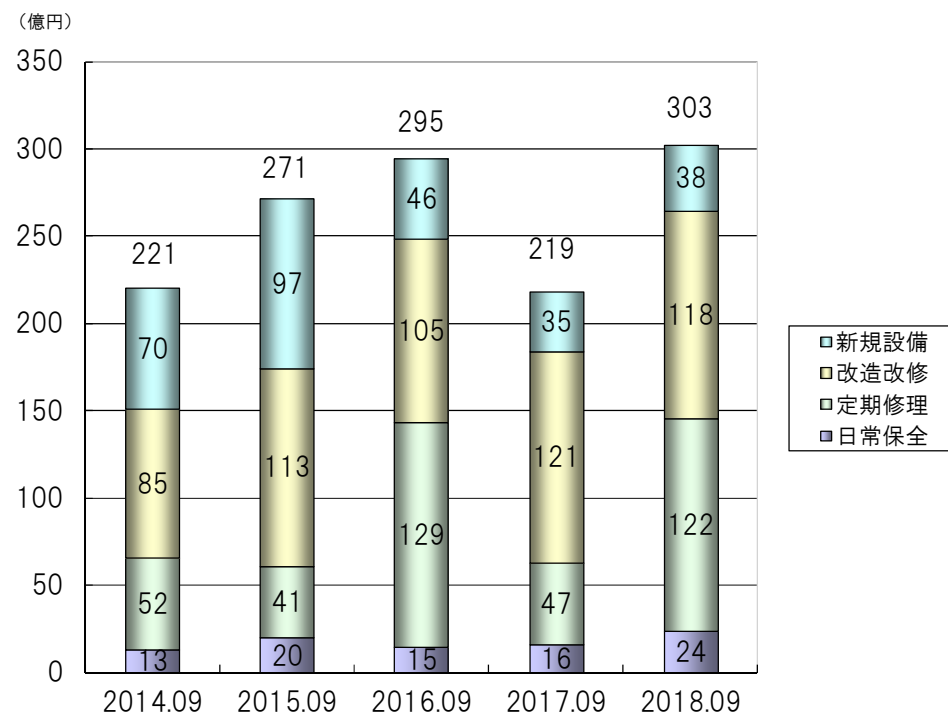
- ① 前期並み。ほぼ期初発表値のとおり

5. 受注残高（連結）

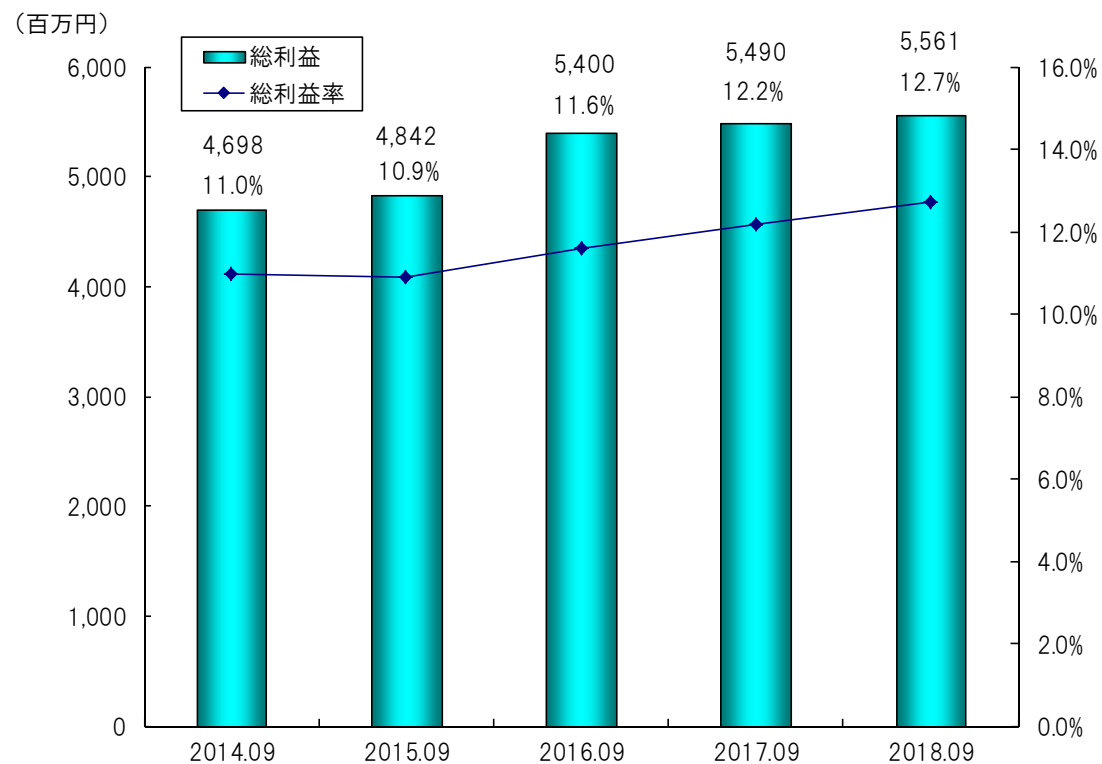
【過去5年間の受注残高の推移（第2四半期）】

（単位：百万円）

	2014.09	2015.09	2016.09	2017.09	2018.09
日常保全工事	1,344	2,007	1,460	1,585	2,373
定期修理工事	5,243	4,112	12,861	4,730	12,218
改造改修工事	8,526	11,321	10,545	12,087	11,837
新規設備工事	6,955	9,689	4,594	3,453	3,842
合 計	22,070	27,130	29,462	21,857	30,273



6. 総利益（連結）



● 総利益は55.6億円。前期比 1.3%の増加

● 期初発表値に対しては、20.9%の増加

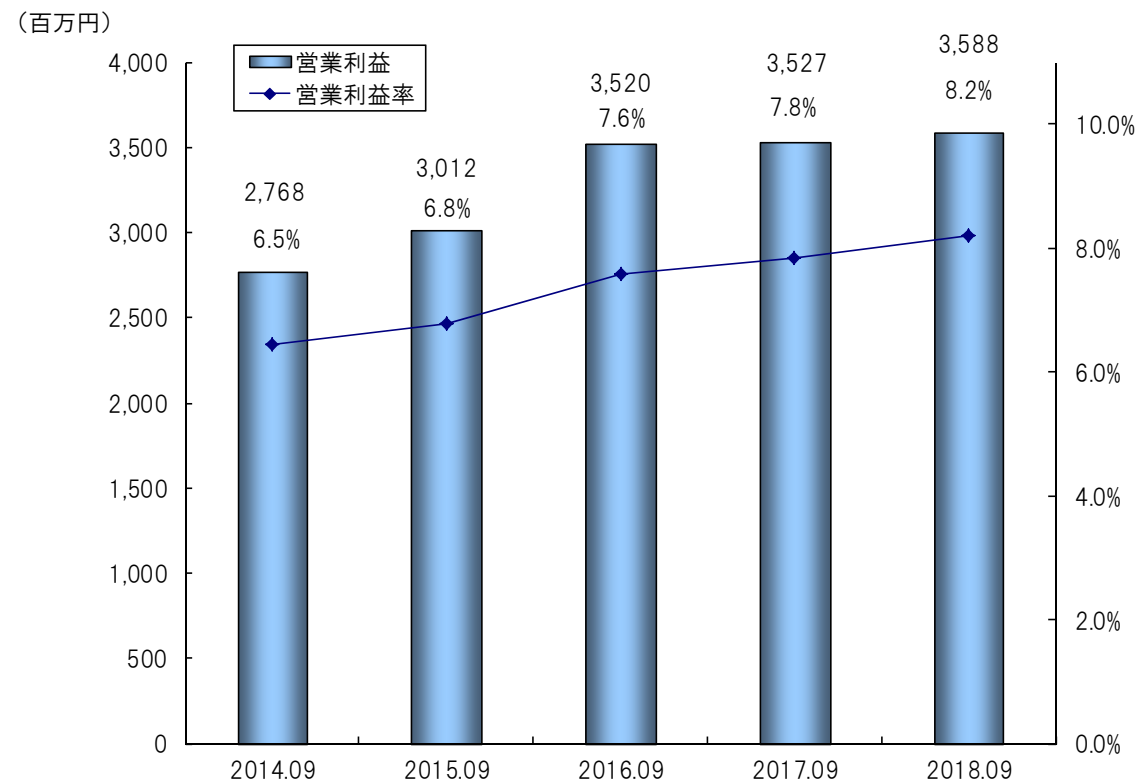
● 総利益率は12.2%から12.7%と0.5ポイント上昇、
期初発表値の利益率9.8%から2.9ポイント上昇

要因：

● 戦略的に受注し、収益が厳しいと想定した定期修理工事の収益が改善

● 収益管理の強化、作業効率の向上、間接コストの圧縮など、
継続的なコスト低減を図り、収益を確保

7. 営業利益（連結）



- 営業利益は35億8千万円。前期比 1.7%の増加
- 期初発表値に対しては、38.0%の増加
- 営業利益率は7.8%から8.2%へ0.4ポイント上昇
期初発表値の利益率5.5%から2.7ポイント上昇

8. 営業外損益・経常利益（連結）

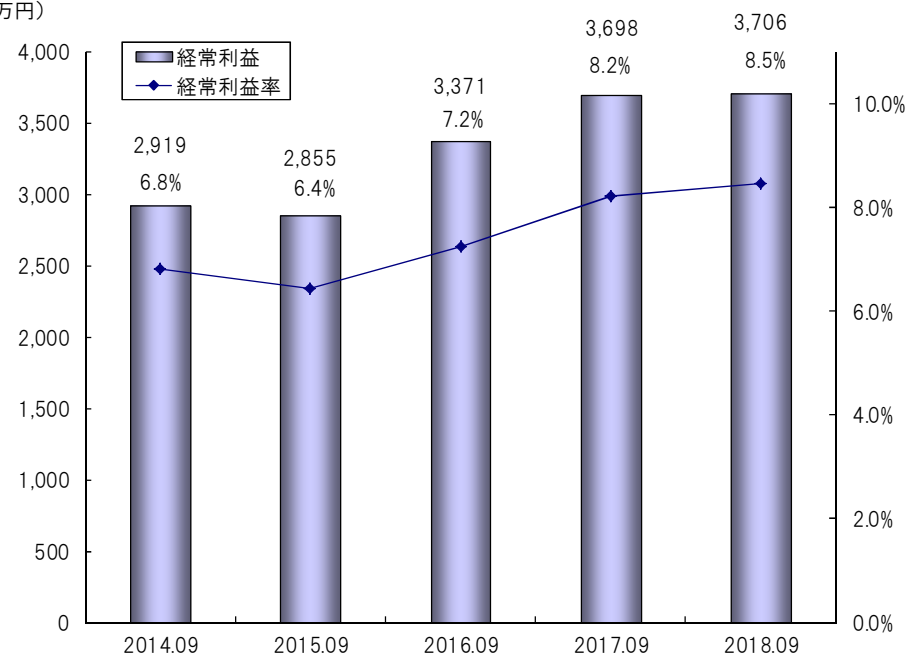
【営業外損益】

（単位：百万円）

	2017.09	2018.09	前年比
【営業外収益】			
受取利息	7	1	-6
受取配当金	52	65	+12
受取賃借料	57	45	-12
為替差益	49		-49
その他	59	38	-20
計	226	151	-75
【営業外費用】			
支払利息	11	2	-9
売上割引	3		-3
為替差損		17	+17
その他	40	13	-27
計	56	32	-23
【営業外損益】	170	118	-51

【経常利益】

（百万円）



- 経常利益は37億円。前期比 0.2%の増加
- 期初発表値に対しては、37.3%の増加
- 経常利益率は8.2%から8.5%へ0.3ポイント上昇
期初発表値の利益率5.7%からは2.8ポイント上昇

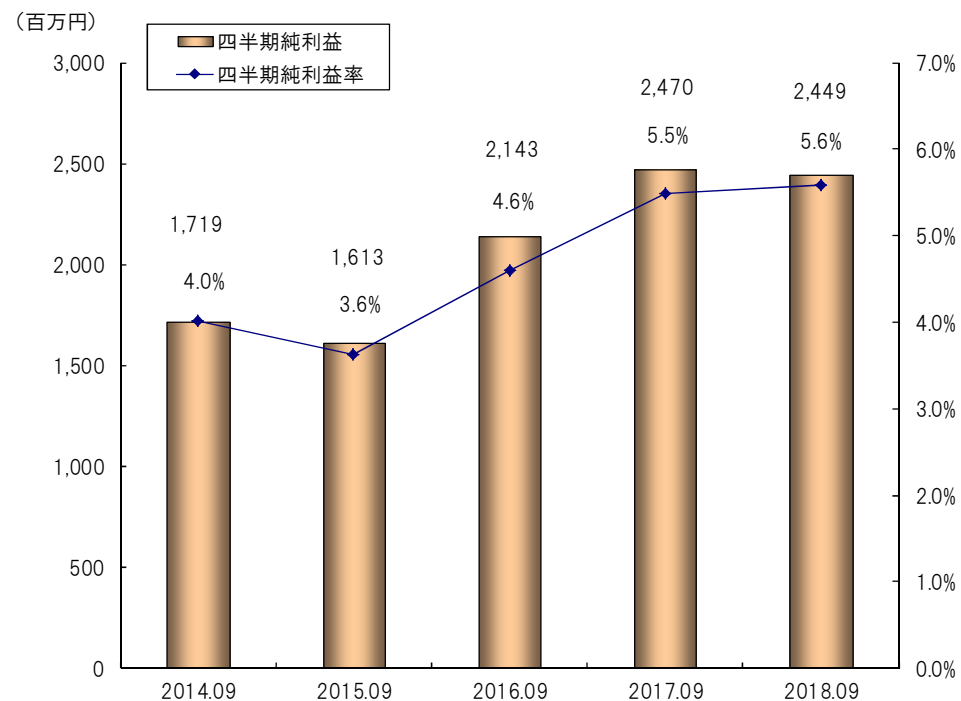
9. 特別損益・当期純利益（連結）

【特別損益】

（単位：百万円）

	2017.09	2018.09	前年比
【特別利益】			
固定資産売却益	0	1	+1
計	0	1	+1
【特別損失】			
固定資産売却損	0	0	+0
固定資産除却損	0	0	+0
計	1	0	-1
【特別損益】	-1	1	+2

【親会社株主に帰属する四半期純利益】



- 親会社株主に帰属する四半期純利益は24億4千万円。
前期比0.8%の減少
- 期初発表値に対しては、44.1%の増加
- 純利益率は5.5%から5.6%へ0.1ポイント上昇
期初発表値の利益率3.6%からは2.0ポイント上昇

10. 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2017.09		2018.03		2018.09		増減		2017.09		2018.03		2018.09		増減
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
【流動資産】	59,700	77.7%	55,766	75.9%	62,576	77.8%	+6,809	【流動負債】	31,272	40.7%	26,217	35.7%	32,075	39.9%	+5,858
現金預金	10,841	14.1%	9,585	13.0%	8,820	11.0%	-764	支払手形及び 工事未払金	26,049	33.9%	22,314	30.4%	26,657	33.2%	+4,343
受取手形及び 完成工事未収入金	39,792	51.8%	39,539	53.8%	41,510	51.6%	+1,971	短期借入金	329	0.4%	251	0.3%	233	0.3%	-18
未成工事支出金	7,921	10.3%	6,048	8.2%	12,045	15.0%	+5,997	未成工事受入金	586	0.8%	389	0.5%	1,445	1.8%	+1,056
その他	1,145	1.5%	594	0.9%	199	0.2%	-394	その他	4,306	5.6%	3,263	4.5%	3,740	4.6%	+476
【固定資産】	17,169	22.3%	17,710	24.1%	17,815	22.2%	+104	【固定負債】	2,759	3.6%	2,248	3.1%	2,202	2.7%	-45
有形固定資産	10,625	13.8%	10,846	14.8%	10,955	13.6%	+109	長期借入金	110	0.1%	91	0.1%	72	0.1%	-19
無形固定資産	187	0.2%	173	0.2%	232	0.3%	+59	退職給付に係る負債	2,046	2.7%	1,905	2.6%	1,842	2.3%	-62
投資その他の資産	6,355	8.3%	6,691	9.1%	6,626	8.2%	-64	その他	602	0.8%	251	0.4%	287	0.3%	+36
								【負債合計】	34,031	44.3%	28,465	38.7%	34,278	42.6%	+5,812
								【純資産】	42,838	55.7%	45,011	61.3%	46,113	57.4%	+1,101
								（内 非支配株主持分）	(736)	(1.0%)	(772)	(1.1%)	(819)	(1.0%)	+46
【資産合計】	76,869	100.0%	73,477	100.0%	80,391	100.0%	+6,914	【負債・純資産合計】	76,869	100.0%	73,477	100.0%	80,391	100.0%	+6,914

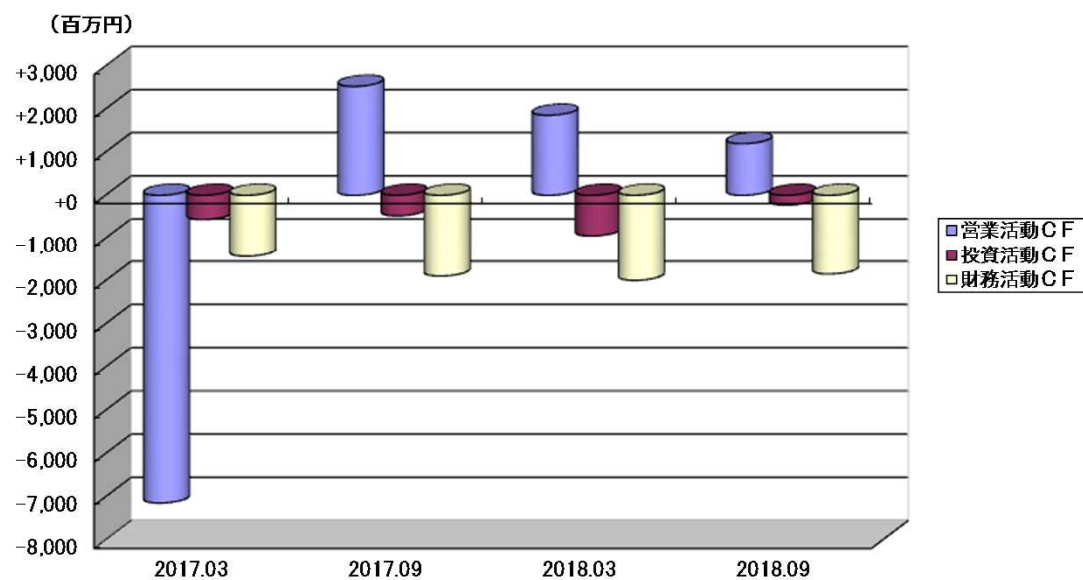
※ 自己資本比率（連結） 56.3%

注）『税効果会計に係る会計基準』の一部改正を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期においては遡及適用後の数値を記載しております。

11. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	2017.03	2017.09	2018.03	2018.09
営業活動ＣＦ	-7,141	+2,526	+1,856	+1,198
投資活動ＣＦ	-561	-476	-944	-227
財務活動ＣＦ	-1,429	-1,891	-1,991	-1,842
現金及び現金同等物 に係る換算差額	-13	-7	-4	-17
現金及び現金同等物の増減額	-9,145	+149	-1,083	-888



12. 2019年3月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	通 期					
	2018.03	2019.03 予想			前年比	増減率
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想		
受 注 高	91,601	51,399	48,601	100,000	+8,399	+9.2%
完 成 工 事 高	89,611	43,789	53,211	97,000	+7,389	+8.2%
総 利 益	10,308	5,561	5,439	11,000	+692	+6.7%
（率）	11.5%	12.7%	10.2%	11.3%	-0.2%	-
一 般 管 理 費	3,932	1,972	2,028	4,000	+67	+1.7%
（率）	4.4%	4.5%	3.8%	4.1%	+0.0%	-
営 業 利 益	6,375	3,588	3,412	7,000	+625	+9.7%
（率）	7.1%	8.2%	6.4%	7.2%	+0.1%	-
経 常 利 益	6,634	3,706	3,594	7,300	+666	+10.0%
（率）	7.4%	8.5%	6.8%	7.5%	-0.0%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,452	2,449	2,351	4,800	+348	+7.8%
（率）	5.0%	5.6%	4.4%	4.9%	-0.2%	-
1株当たり当期純利益	96.31円	52.98円	—	103.84円	7.53円	+7.8%
受 注 残 高	22,607	30,273	—	25,807	+3,200	+14.2%

（参考）

（単位：百万円）

期初発表値（5月9日発表）								
上期			下期			通期		
期初発表値	差異	増減率	期初発表値	差異	増減率	期初発表値	差異	増減率
47,000	+4,399	9.4%	48,000	+601	1.3%	95,000	+5,000	5.3%
47,000	-3,210	-6.8%	48,000	+5,211	10.9%	95,000	+2,000	2.1%
4,600	+961	20.9%	4,900	+539	11.0%	9,500	+1,500	15.8%
9.8%	+2.9%	-	10.2%	+0.0%	-	10.0%	+1.3%	-
2,000	-28	-1.4%	2,000	+28	1.4%	4,000	+0	0.0%
4.3%	+0.2%	-	4.2%	-0.4%	-	4.2%	-0.1%	-
2,600	+988	38.0%	2,900	+512	17.7%	5,500	+1,500	27.3%
5.5%	+2.7%	-	6.0%	+0.4%	-	5.8%	+1.4%	-
2,700	+1,006	37.3%	3,000	+594	19.8%	5,700	+1,600	28.1%
5.7%	+2.8%	-	6.3%	+0.5%	-	6.0%	+1.5%	-
1,700	+749	44.1%	1,900	+451	23.7%	3,600	+1,200	33.3%
3.6%	+2.0%	-	4.0%	+0.4%	-	3.8%	+1.1%	-

※上記の差異および増減率は左表の実績値または予想値との比較です。

13. 受注高及び完成工事高の内訳（連結）

受注高

（単位：百万円）

	2018.03	2019.03 予想			前年比	期初発表値(5/9)	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		通期	差異
日常保全工事	25,086	11,419	12,581	24,000	-1,086	24,000	+0
定期修理工事	36,018	22,610	18,390	41,000	+4,982	32,500	+8,500
改造改修工事	26,114	13,644	11,356	25,000	-1,114	27,000	-2,000
新規設備工事	4,381	3,724	6,276	10,000	+5,619	11,500	-1,500
エンジニアリング業	91,601	51,399	48,601	100,000	+8,399	95,000	+5,000

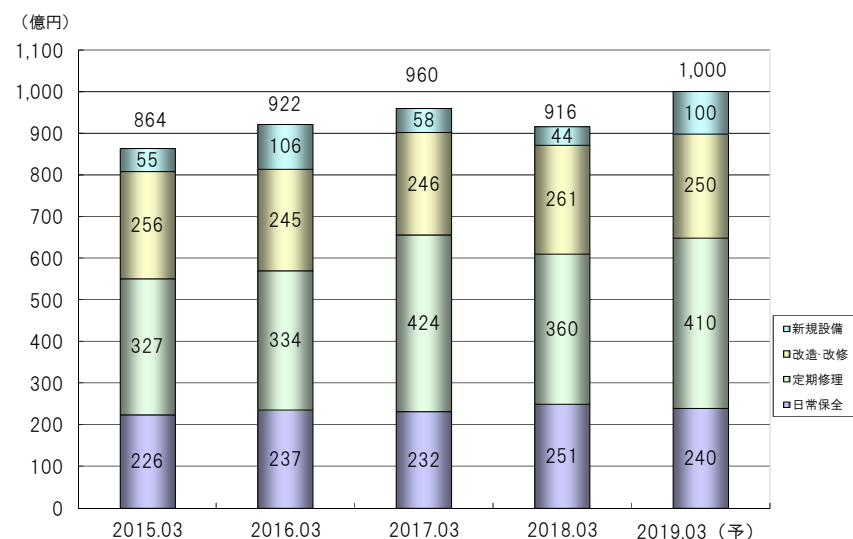
完成工事高

（単位：百万円）

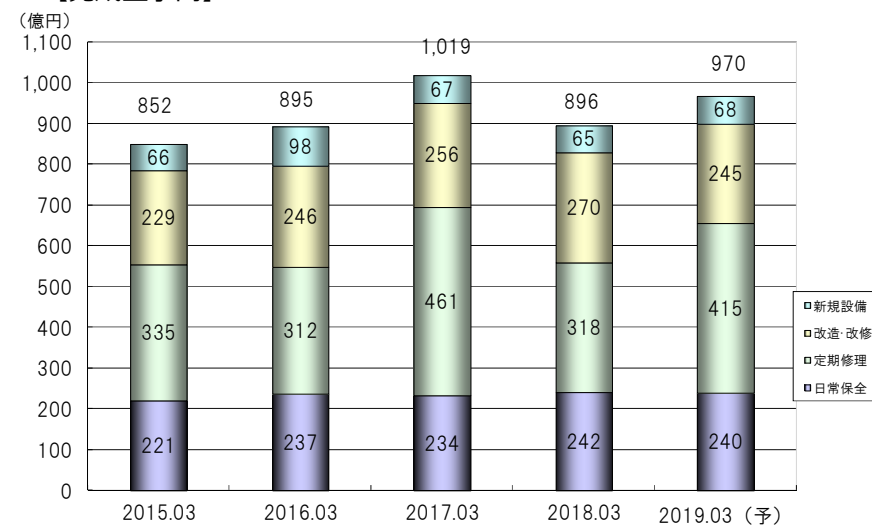
	2018.03	2019.03 予想			前年比	期初発表値(5/9)	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		通期	差異
日常保全工事	24,180	11,029	12,971	24,000	-180	24,000	+0
定期修理工事	31,817	21,190	20,310	41,500	+9,683	37,000	+4,500
改造改修工事	27,011	8,578	15,922	24,500	-2,511	27,000	-2,500
新規設備工事	6,453	2,914	3,886	6,800	+347	6,800	+0
エンジニアリング業	89,463	43,712	53,088	96,800	+7,337	94,800	+2,000
その他事業	148	76	124	200	+52	200	0
合 計	89,612	43,789	53,211	97,000	+7,388	95,000	+2,000

14. 通期の推移

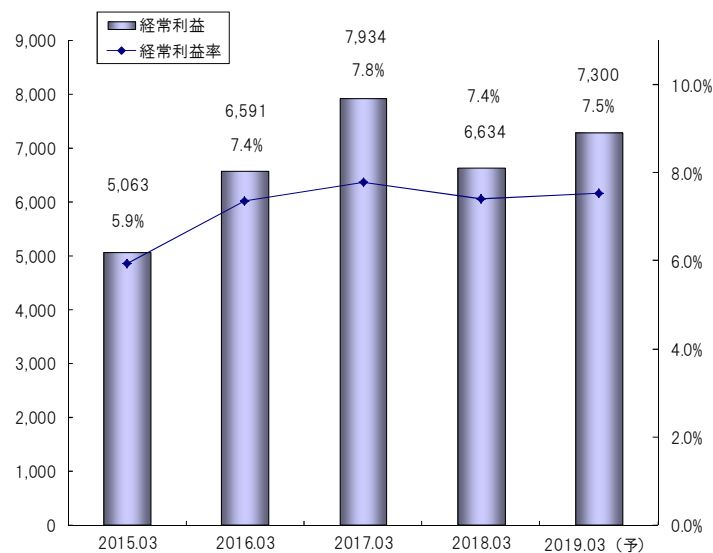
【受注高】



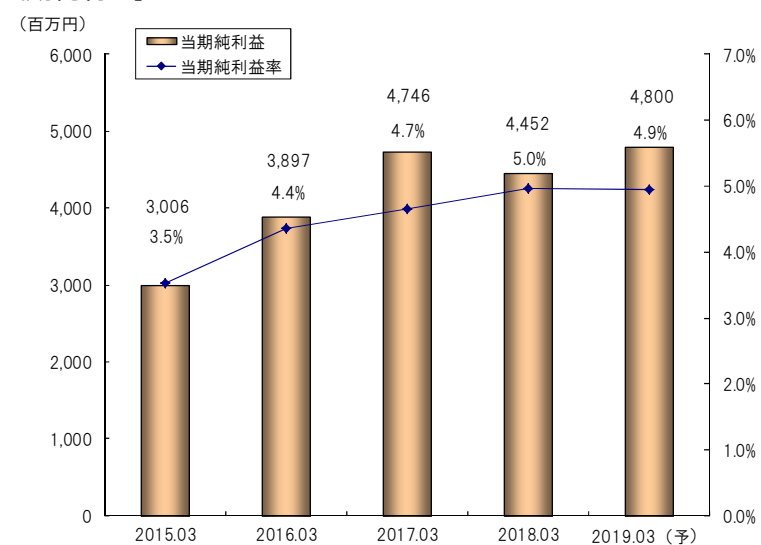
【完成工事高】



【経常利益】



【当期純利益】



配当に関する基本認識

当社グループの事業は、石油・石油化学等のプラント関連のメンテナンスを基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。このような事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると考えております。

配当方針

株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面に充分留意し、強固な事業基盤と将来の事業拡大に必要な内部留保を確保した上で、40%以上の配当性向（連結）を目標といたします。

2019年3月期 配当予定

- 期末配当 32円 → 42円 に増配 （連結配当性向 40.4%）

新興プラントエック

JXエンジニアリング

2019年4月1日
経営統合

JXエンジニアリング

JXTGグループをはじめ、石油・石油化学、金属・機能性材料、石油物流、電力などの幅広い業界のお客様のエンジニアリング業務を全面的にサポートしている総合エンジニアリング会社

各種プラント、タンク、建築物等の基本計画、設計、調達から建設工事までのEPC業務、試運転業務、運転開始後のメンテナンス業務に至るまで、トータルライフサイクルの各ステージにおいて最適なサービスを提供

自社開発による設備機器やプラントの研究開発を通じて、時代の最先端を行く技術を武器に、新たな分野に積極的に挑戦

JXエンジニアリング

会社概要

(2018年3月末日現在)

名 称	JXエンジニアリング株式会社
所 在 地	横浜市中区桜木町一丁目1番地8
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 倉田 一郎
事 業 内 容	各種建設工事・保全工事の設計、施工、施工監理および受託業務等
資 本 金	300百万円
設 立 年 月 日	1967年12月1日
発 行 済 株 式 数	863,160株
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	(単体) 603名
主 要 取 引 先	(販売先) JXTGエネルギー(株)
主 要 取 引 銀 行	(株)三井住友銀行
大株主及び持株比率	JXTGホールディングス(株) 70.0%
	(株)NIPPO 30.0%

JXエンジニアリング

沿革

日陽エンジニアリング株式会社

- 1967年
(昭和42年) 日本鉱業(株)の工務部門の一部が分社し、**日鉱エンジニアリング(株)**が発足
- 2001年
(平成13年) **甲陽建設工業(株)**、**(株)JOMOインタープライズのエンジニアリング部門**と統合し、**日陽エンジニアリング(株)**が発足
- 2003年
(平成15年) 鹿島石油(株)のエンジニアリング子会社である鹿島エンジニアリング(株)を合併
- 2010年
(平成22年) 新日鉱ホールディングス(株)の100%子会社となる

株式会社NIPPO エネルギー事業本部

- 1970年
(昭和45年) 三菱石油(株)の工務部門が分社し、三菱重工業(株)及び千代田化工建設(株)により**三菱石油エンジニアリング(株)**が発足
- 1982年
(昭和57年) 日本石油(株)の工務部門が分社し、**日石エンジニアリング(株)**が発足
- 1999年
(平成11年) 日本石油(株)と三菱石油(株)が合併し、新日本石油(株)を設立。これに伴い**新日石エンジニアリング(株)**が発足
- 2003年
(平成15年) 日本舗道(株)と統合し、**(株)NIPPO エネルギー事業本部**となる
- 2011年
(平成23年) **(株)JOMOインタープライズの建設部門**と統合

2012年
(平成24年) 2010年にJ Xホールディングスが発足。2012年に**(株)NIPPO エネルギー事業本部**を吸収分割の手法により、**日陽エンジニアリング(株)**に統合し、**JXエンジニアリング(株)**が発足する

2016年
(平成28年) JXエネルギー株式会社が東燃ゼネラル石油株式会社と合併したことにより、JXグループはJXTGグループとなる

経営統合の背景

- ①石油製品需要減退に伴う設備エンジニアリング市場の縮小
- ②既存設備の高経年化に伴うメンテナンスの重要性及び技術に対する顧客要求の高まり
- ③新しい社会を見据えた商品需要の多様化に伴う生産設備の新設・改造需要の将来的な増加の可能性
- ④新たな需要を取り込み、成長を続けるためには、優秀な人材の確保・育成が急務

経営統合の目的

- ①新興プランテックの強みである「高度な施工管理能力」と、JXエンジニアリングの強みである「高度なエンジニアリング技術」とを組み合わせ、高度なエンジニアリング力を有するプラントメンテナンスの国内リーディングカンパニーとなることができ、企業価値の向上、ステークホルダーの利益につながる。
- ②両社の特性を融合し、相互のリソースを有効活用することで、多様化する生産設備の新設・改造需要を取り込み、各事業の規模を拡大する。
- ③経営統合を通じ、両社の従業員の活躍の場を従来以上に広げ、各人のモチベーション向上やエンジニアリング技術の維持・発展を目指す。

(1) 経営統合のスケジュール

基本合意書締結	2018年9月28日
経営統合本契約	2018年12月（予定）
当社臨時株主総会 （本経営統合の承認）	2019年2月（予定）
本件統合期日（効力発生日）	2019年4月1日（予定）

(2) 本経営統合の方式

当社を吸収合併存続会社、JXエンジニアリングを吸収合併消滅会社とする吸収合併

(3) 本経営統合後の会社の名称、代表者、役員構成等の基本事項

新会社名	経営統合本契約締結までに決定
新会社の経営体制	監査等委員会設置会社
代表者、役員構成など	当社、JXTGホールディングス、JXエンジニアリングの間で協議し、決定

(4) 経営統合の統合比率

ファイナンシャル・アドバイザーの評価、デュー・ディリジェンスの結果等を参考とし、経営統合本契約締結までに当社、JXTGホールディングス、JXエンジニアリングの間で協議し、決定

(5) 上場維持の見込み

上場会社としての経営の独立性の確保を基本方針とし、経営統合後も東京証券取引所市場第一部において上場を維持

(6) 独立委員会

経営統合に係る手続の公正性を担保するべく、当社、JXTGホールディングス及びJXエンジニアリングから独立した委員から成る独立委員会を設置

(ご参考)

最近3年間の経営成績および財政状態

(単位：百万円)

	当社（連結） 新興プランテック			JXエンジニアリング（単体） JXエンジニアリング		
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
純 資 産	37,229	41,709	45,012	17,391	16,723	17,577
総 資 産	72,320	77,103	73,847	30,074	30,450	34,419
1株当たり純資産(円)	793.24	887.99	956.99	20,148.09	19,373.86	20,363.30
完 成 工 事 高	89,491	101,924	89,612	42,142	36,899	50,105
営 業 利 益	6,793	7,904	6,376	2,000	1,598	2,001
経 常 利 益	6,592	7,934	6,635	2,205	1,799	2,134
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,897	4,747	4,452	1,431	1,197	1,448
1株当たり当期純利益(円)	84.31	102.68	96.31	1,657.73	1,386.77	1,677.45
1株当たり配当金(円)	30.00	42.00	39.00	2,160.00	690.00	840.00

1. 駐在員事務所開設の理由

当社グループの海外事業戦略に関して、中国および東南アジアへ進出している日系企業の中小型案件を中心とした受注戦略を継続する方針に基づき、今後の成長が期待できるベトナム国に駐在員事務所を開設し、市場調査および情報収集を通じて、海外拠点としてのビジネス展開を検討

2. 駐在員事務所の概要

- (1) 名 称 : 新興プランテック株式会社ハノイ駐在員事務所
THE REPRESENTATIVE OFFICE OF SHINKO PLANTECH CO., LTD. IN HANOI CITY
- (2) 所在地 : 16th floor, Icon4 Tower, 243A De La Thanh Street,
Lang Thuong Ward, Dong Da District, Hanoi, Vietnam
- (3) 業務内容 : 各種調査、連絡業務および事業展開の可能性検討
- (4) 開設日 : 2018年11月15日

この資料には、2018年11月16日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

新興プランテック株式会社

〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5

経営企画部 企画グループ

TEL 045-758-1953／FAX 045-758-1999

E-MAIL : ir-info@s-plantech.co.jp

URL : <http://www.s-plantech.co.jp>